

「*Choju*」だより

株式会社エース・E&L

代表取締役社長 津田 博通

【TVの音量を大きくしすぎて聴こえなくなった82歳のおばあちゃん】

「*Choju*」は、2016年11月販売開始以来、様々なお客様のご意見や困っている問題を解決すべく対応して参りました。今回は、TVの音量を大きくしすぎて聴こえなくなった82歳のおばあちゃんのお話です。

(人の話が聴こえてもTVの音声が聴こえなくなった82歳のおばあちゃん)

82歳のSさんは、近所の友達3人で、会社に突然現れ聴こえの相談にきました。三人のうち一人は問題がありませんが、お二人は聴こえが悪くすでに「CHOJU」を購入して、使用しております。リーダーのT1さんは、自治会の老人会で「CHOJU」の説明会を開催してくれたり、大変な世話好きな方です。聴こえが悪くなった友人のT2さんとSさんに「CHOJU」を紹介してくれました。T2さんは、音量(中の2)で会話もTVの音声が聴こえて問題なしでした。Sさんは、(中の2)で会話が聴こえましたが、TVの音声が全く聴こえない状態でした。なぜこのようなことが起きたか、いろいろお話を聞きました。わかったことは、「CHOJU」をつけない状態で、会社のTVを聴いてもらったら、TVの標準の音量20に対し、40くらいまで上げないと聴こえない状態です。Sさんは一人暮らしですので、だれに迷惑をかけることがないため、聴こえるだけTVの音量を上げる生活に慣れてしまいました。この様な習慣で、TVの音声を理解する脳の働きが劣化したものと思われます。

このため、TVの音声を、FM無線を通して直接聴こえる、「CHOJU II」を試したところ、雑音がないため聴こえが良くなり、音量(中の2)でも聴こえることがわかりました。自分の聴こえを無制限に機器の音量に合わせてしまうと、聴こえの能力はどんどん劣化する見本と思います。Sさんは、次回「CHOJU II」の購入代金1万5千円をためて、購入しに来ることになりました。

音量を制限いっぱい上げる補聴器の使用者は、間違いなく聴こえの能力が劣化します。「CHOJU」は、自分でコントロールしながら音量を下げて聴こえる訓練が出来ます。「CHOJU」で(中の2)の聴こえを(小4-5)に下げることが可能です。

以上